

## 2017 年度信州大学実験・実習技術研究会参加報告

機械・環境建設系技術班 川口 隆, 玉岡 亮一

主 催：国立大学法人信州大学  
期 日：平成 30 年 3 月 1 日（木）～3 月 3 日（土）  
会 場：信州大学長野（工学）キャンパス

### 1. はじめに

本研究会は、国立大学法人、独立行政法人国立高等専門学校機構および文部科学省所轄の大学共同利用機関法人等に所属する職員が技術研究発表・討論を通じて技術の研鑽・向上を図り、さらには相互の交流と協力により技術の伝承を踏まえ、我が国の学術振興における技術支援に寄与することを目的として開催している。本年度は信州大学にて開催された。

### 2. 報告事項

『食と環境科学技術』というテーマが掲げられた信州大学では、11 発表分野に、ポスターおよび口頭発表者、聴講者を含めて合計 393 名の参加者があった。また、シンポジウム、記念講演、展示ブースや各種イベントが企画開催された。記念講演では、天野良彦教授による「地域資源を活かして地方を元気にする取り組みーソルガムプロジェクトと人材育成ー」が開催された（写真－1）。ご講演は信州大学と長野地方の特色を上手く組み合わせ、先進的かつ、積極的に地域貢献に取り組んでいる内容であった。

2 日目には、川口が「留学生への実験技術の伝承について」と題し、口頭発表をおこなった（写真－2）。



写真－1 記念講演



写真－2 口頭発表

### 3. おわりに

実験・実習技術研究会は、自分をさらに高めたいと気持ちにあふれている全国の研究・教育機関の技術系職員が集まってくる。自分の仕事に誇りを持たれている技術職員の方々の情熱的なご発表を聞き、熱い議論を交わすことは、日常業務では得難い有意義な時間であった。今後も積極的に参加したいと考えている。

謝辞：このたびの参加にご配慮頂きました八尋技術部長、細川事務課長、関係各位に厚く御礼申し上げます。